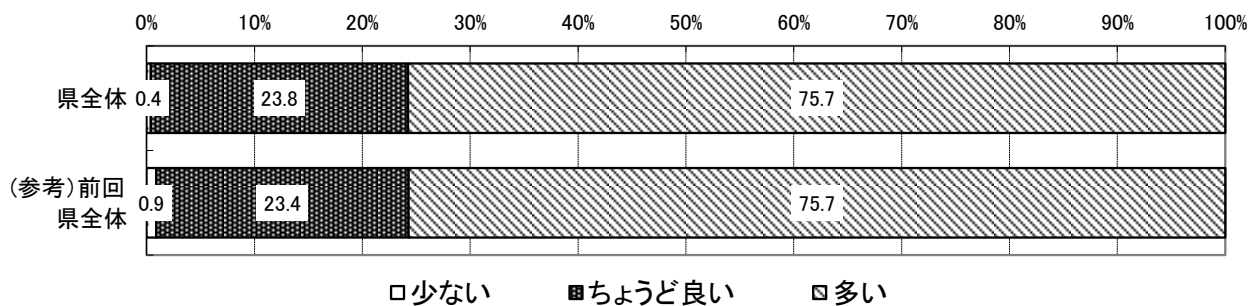


5 調査に対する評価の調査分析結果

この調査について回答者がどのように感じたか、設問の量などについて調査した。

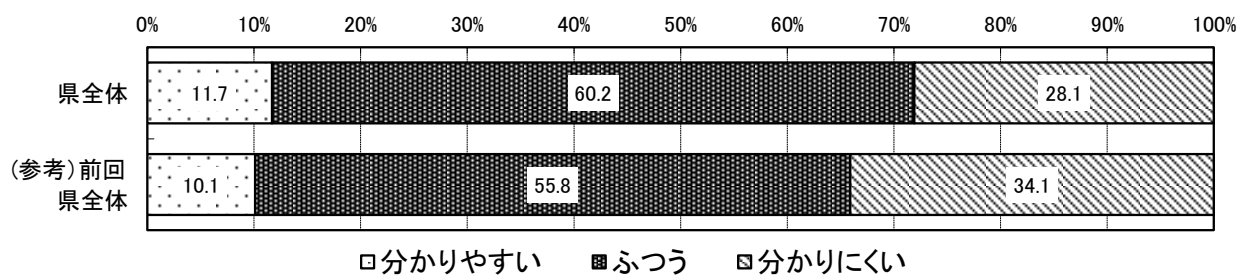
(1) 設問の量



■ 県全体

「ちょうど良い」が23.8%、「少ない」が0.4%に対し、「多い」は75.7%である。

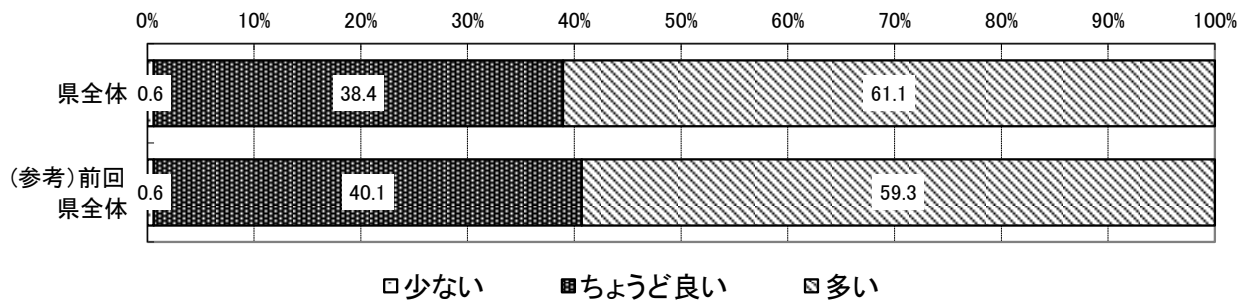
(2) 文章説明の分かりやすさ



■ 県全体

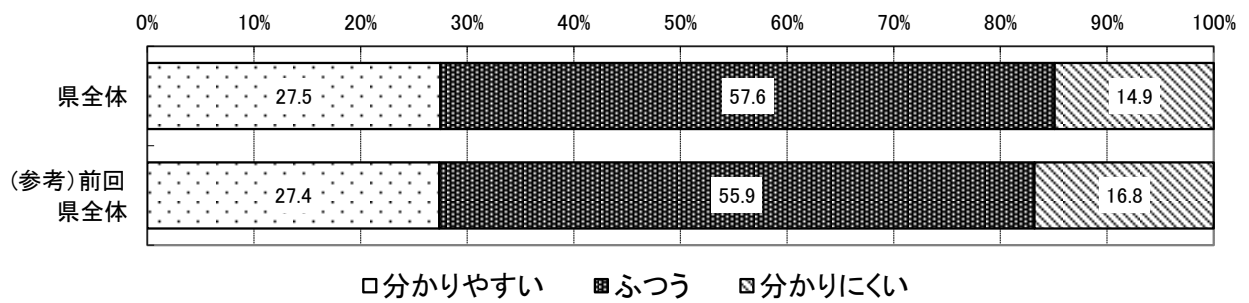
「分かりやすい」「ふつう」を足しあわせたものは71.9%であり、「分かりにくい」の28.1%を大きく上回った。

(3) 文字の量



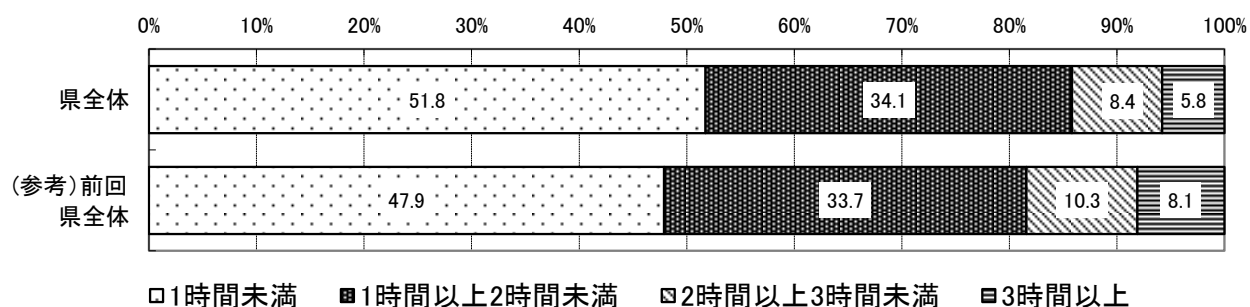
■ 県全体
 「ちょうど良い」が38.4%、「少ない」は0.6%に対し、「多い」は61.1%である。

(4) 記入方法の分かりやすさ



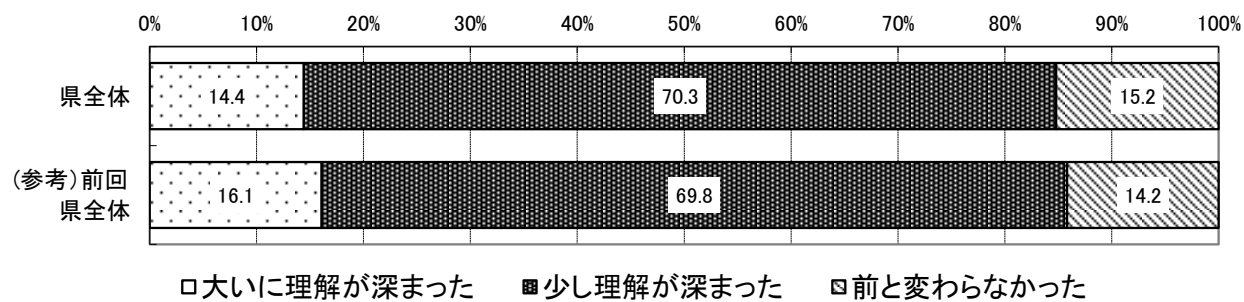
■ 県全体
 「分かりやすい」「ふつう」を足しあわせたものは85.1%を占め、「分かりにくい」の14.9%を大きく上回った。

(5) 回答に要した時間



■ 県全体
 回答に要した時間については、1時間未満が51.8%、1時間以上2時間未満が34.1%、2時間以上3時間未満が8.4%、3時間以上が5.8%であった。

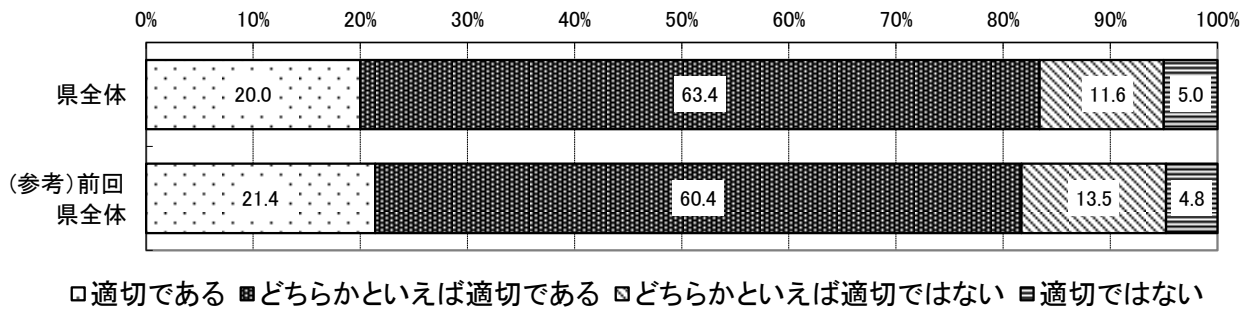
(6) 様々な取組についての理解の深まり



■ 県全体
 「大いに理解が深まった」14.4%、「少し理解が深まった」70.3%を足しあわせた『理解が深まった』が84.7%であり、「前と変わらなかった」の15.2%を大きく上回った。

※ 『理解が深まった』: 「大いに理解が深まった」 + 「少し理解が深まった」

(7) 県民の意見を県政に反映させる方法として適切か



■ 県全体

「適切である」20.0%、「どちらかといえば適切である」63.4%を足しあわせた『適切』は83.4%であり、「どちらかといえば適切ではない」11.6%、「適切ではない」5.0%を足しあわせた『不適切』16.6%を大きく上回った。

※『適切』:「適切である」+「どちらかといえば適切である」
 ※『不適切』:「どちらかといえば適切ではない」+「適切ではない」

6 県政全般についての自由意見

(1) 大分類

県政全般、震災の復興・復旧や調査方法等に対する意見・要望等の結果は次のとおりである。

分類項目	件数
1 県政に対する意見	363件
2 震災の復旧・復興に関する意見	49件
3 調査に関する意見	91件
4 その他	53件
総意見数(回答者数 537名)	556件

※件数は複数回答扱い

(2) 小分類

(※大分類「震災の復旧・復興に関する意見」を細分化)

分類項目	件数
分野1 環境・生活・衛生・廃棄物	5件
取組1 被災者の生活環境の確保	5件
取組2 廃棄物の適正処理	0件
取組3 持続可能な社会と環境保全の実現	0件
分野2 保健・医療・福祉	3件
取組1 安心できる地域医療の確保	0件
取組2 未来を担う子どもたちへの支援	1件
取組3 だれもが住みよい地域社会の構築	2件
分野3 経済・商工・観光・雇用	0件
取組1 ものづくり産業の復興	0件
取組2 商業・観光の再生	0件
取組3 雇用の維持・確保	0件
分野4 農業・林業・水産業	1件
取組1 魅力ある農業・農村の再興	0件
取組2 活力ある林業の再生	0件
取組3 新たな水産業の創造	1件
取組4 一次産業を牽引する食産業の振興	0件
分野5 公共土木施設	12件
取組1 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進	8件
取組2 海岸、河川などの県土保全	1件
取組3 上下水道などのライフラインの整備	1件
取組4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築	2件
分野6 教育	12件
取組1 安全・安心な学校教育の確保	0件
取組2 家庭・地域の教育力の再構築	0件
取組3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実	12件
分野7 防災・安全・安心	13件
取組1 防災機能の再構築	1件
取組2 大津波等への備え	12件
取組3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化	0件
取組4 安全・安心な地域社会の構築	0件
その他	17件
総意見数(回答者数 60名)	63件

※件数は複数回答扱い

小分類で「その他」の意見を除いて、一番件数が多かったのは「生涯学習・文化・スポーツ活動の充実」に関する意見及び「大津波等への備え」に関する意見となっている。次いで、「道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進」に関する意見と続く。

大分類の「県政に対する意見」については、新型コロナウイルス感染症対策、それにともなった経済的不安や税金の用途、医療体制の強化や充実、環境を考慮した子育て支援や教育の充実等を望む意見、原子力発電所再稼働等に対する意見が多くみられた。

また、大分類における「その他」では、新型コロナウイルス感染症や就職難に関する意見が多く含まれていた。

なお、「震災の復旧・復興に関する意見」については、小分類にその傾向が示されているが、復旧復興全般に対する感想、防災意識の再確認や再周知の対応を求める意見が多く含まれていた。